

紙芝居指導計画書

紙芝居グループ No. _____

学籍番号 _____

氏名 _____

①主題：よくかんでゆっくり食べよう（「こどもの食教育2 紙芝居・ペープサート編」山崎文雄著，第一出版 参考）

②ねらい：食べ方の良し悪しが健康に影響を及ぼすことを知らせ、「好ましい」食べ方の基礎を生活習慣として身につけさせる。

③指導の時間：15分

④指導の展開：

指導内容	指導者の働きかけ	児童の反応と活動	指導上の留意点
よくかんで食べることを意識してもらう。	食事をどれくらいの時間で食べているかたずねる。 よくかんで食べているか考えてもらう。	考えを答える。	ごはんを何回くらいかんでいるかなど実例を挙げて聞いてみる。
	「よくかんでゆっくり食べよう」を見せる。	見る。	
よくかんで食べることはどのように健康にいいか。	はやお君とかむお君のちがいを尋ねる。	考えを発表する。 ・はやお君は食べ物を次々と口へ運ぶ。 （おなかは苦しそう、あごは弱そう） ・かむお君はゆっくりかんで食べている。 （おなかニコニコ、あごは丈夫）	
	よくかんで食べていることはなぜ大事か尋ねる。	考えを発表する。 ・だ液をたくさん出す。 ・頭の働きがよくなる。 ・あごが強くなる。	<ul style="list-style-type: none"> ・だ液 →消化を助ける。 →胃腸が楽 →バイキンをやっつける ・あごの運動になる →頭を刺激 →頭の働きがよくなる というように答えがつながっていくように一つ一つ誘導する。
実際にかむことに興味をもってもらう。	食べ物によって何回ずつかむといいか尋ねる。	軟らかいもの 10回 ごはん、パン、めん 20回 野菜、果物、海藻 30回	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の給食の献立とリンクさせて聞く。 「～は～回かもう！」など ・毎日続けることが大切だと知らせる。